

今週のビルマのニュース 2011年6月17日 (1120号)
カチン州での戦闘止まず 中国の関与は 新刊・イベント情報

【ビルマ国内】

- ・ カチン州で9日に始まったビルマ国軍とカチン独立軍（KIA。カチン独立機構=KIOの軍部）との交戦の影響で、多数の民間人住民が避難している模様。17日正午現在、死傷者・避難民数や避難先の詳細は不明だが、KIAから情報を得ているカチン・ニュース・グループによれば約10,000人がKIOの本拠地ライザや、別の拠点マイジャヤンなどに避難している。国境を超えて中国に入った避難民もいるとのこと。（カチン・ニュース、米国ビルマ・キャンペーンほか）＊「注目アイテム」欄も参照。
- ・ カチン州での戦闘が始まったのは、中国の出資を得てビルマ政府が進めていたタペイン（ダペイン、タピンとも）第一・第二水力発電ダムの建設現場周辺。中国国境からは約30キロ離れている。中国大唐集団などが出資し、2007年に建設が開始されたが、KIOは建設に反対している。同ダムの設置出力は合計約400メガワットで、生産される電力は中国に輸出される予定。（ビルマ河川ネットワーク資料ほか）

【国際関係】

- ・ タイの建設最大手イタリアンタイ・ディベロップメントは16日、同社が手がけるダウエイ（タヴォイ）での深海港等開発事業について、日本で合弁相手を募るため説明会を開いた。（17日日刊工業新聞）

【政府開発援助（ODA）】

- ・ 新たな発表はなし。

【注目アイテム】

- ・ 「カチン州で戦闘、多数の住民が避難」（ビルマ情報ネットワークまとめ、写真と地図あり）
<http://www.burmainfo.org/article/article.php?mode=1&articleid=524>
- ・ ビルマ河川ネットワークのプレスリリース「タペイン及びシュエリダムなど、中国が援助する水力発電ダム建設が武力紛争を招いている」（15日）。<http://www.burmariversnetwork.org/actions/press-releases>
- ・ 【新刊】出版者めこんより「ミャンマー概説」編者・伊東利勝（愛知大学教授・前東南アジア学会会長）定価7000円＋税 A5判734頁。<http://www.mekong-publishing.com/books/ISBN4-8396-0240-6.htm>
- ・ パラウン民族女性が中国向け人身取引の被害に遭っている実態について、パラウン民族女性機構（PWO）が事例集を発表（14日）。<http://www.womenofburma.org/Report/StolenLives-Eng.pdf>

【イベント情報】（〔 〕内は主催者。共催等は省略）

- ・ [早稲田大学アジア研究機構アジア平和研究所ほか] 緊急シンポ「援助を阻むもの、復興を阻むものーアジアと東日本の被災からー」発題（予定）：辻元清美（首相補佐官）、秋元由紀（ビルマ情報ネットワーク）、佐伯奈津子（インドネシア民主化支援ネットワーク）ほか（大隈記念講堂・小講堂、18日13時半～）
- ・ [在日ビルマ人のみなさん] アウンサンスーチーさん誕生日会・写真展示（名古屋・働く人の家、19日13時～16時）問合先：アウンエウィン 090-5106-6393 / [ビルマ女性連盟日本支部] アウンサンスーチー氏66歳誕生日記念式典（映像メッセージ上映等予定）（南大塚地域文化創造館大会議室、19日18時～20時半）
- ・ [新社会民主党ほか] ミンコーナイン氏の釈放を求める行動（在日ビルマ大使館前、21日15～16時）
- ・ [ビルマ民主化ネットワーク日本（NDB）] ビルマ軍政に対し少数民族への武力攻撃および少数民族居住地区への侵攻の即時停止を求める抗議行動（品川・在日ビルマ大使館前、24日15時～16時半）
- ・ [ビルマ市民フォーラム] 第15回総会および講演「何か変わったか？ー新政権発足3ヶ月」根本敬（上智大学教授）、ティンウィン（在日ビルマ市民労働組合代表）（池袋・生活産業プラザ8階、25日18時～）

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>